

37 同会関東支部観桜会(その1)

はじめに

去る4月4日(土)に「37 同会関東支部観桜会」を行いました。お天気が心配でしたが、雨は降らず、少し寒かったほかはまずまずの気候でした。

今回は、遠く福岡から義永さん、下関から坂井君、名古屋から来島さんに参加していただき、大変思い出に残る会になりました。また、福岡の黒水さんから九州限定の「春季(はるとき)ひよ子詰合せ」を差し入れていただき、参加者一同、昨年11月に丸の内で行った歓迎会のときの話に花を咲かせながら、美味しく頂きました。黒水さん、有り難うございました。

13時開始のアルカディア市ヶ谷内中国料理「翠」(すい)における会食の前に、地下鉄「九段下」駅に11時に集合し、千鳥ヶ淵～国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑～靖国神社～アルカディア市ヶ谷のコースで花見会を行いました。花見会は9名、会食(一次会)は14名、二次会(カラオケ館 神田小川

町店)は11名でした。

今回は花見会の状況をお知らせし、全3回に分けて状況をお送りします。

1 九段下駅

九段下駅「2番出口」(写真右)には、皆さん遅刻もせずに集まりました。この日は帝京大学グループ(同大学グループには平成帝京大学など、いろいろな大学があるようです)の入学式が日本武道館で実施されることも重なって、ものすごい混雑でした。

私が千葉県流山市の自宅を出る1分前に黒水さんの差し入れが届き、なんとか間に会いました。そうしているうちに「翠」から電話があり、「14名が13名になったという御連絡が参りましたが、それでよろしいですか?」と言うので、「誰からですか?」と尋ねましたが、分からないと言うので、「14名のままでお願いします」と伝えました。荷物を持ってお店に行きましたら、同日に14名の宴会があって、そちらの間違いでした。流山には朝から雨が降っており、とにかく心配でした。



2 千鳥ヶ淵沿いの散策

3月31日に来たときもそうでしたが、この日もものすごい人出でした。離れ離れにならないように、気を遣いました。

4月1日の偵察報告で、品川弥二郎像の近くに山縣有朋像があると書きましたが、倉田君が、「ここに違う名前が書いてあるよ」と言うので見ると、「大山巖元帥」と書かれていました。どうも、目も頭もボケてきました。

ここで、薩摩の人が出てきましたので、よかったです。桜は散り始めていましたが、かえって風情がありました。







去年のままですと、千代田区営のボートは、普段30分500円ですが、花見シーズンになりますと、30分800円です。区の良好な財源です。

今まで千代田区はプラスチック・ゴミも「燃やせるゴミ」でしたが、自らゴミ処理施設を持たないことから昨年度から、分別してゴミの量を減らす施策を始めました。



3 国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑

敷地に入ってすぐ左手に一對の慰霊碑が建立されています(写真右)。向かって左が「引揚に伴う死没者の永遠の平和記念碑」で、終戦時に外地から引き揚げてこられた約320万人のうち、亡くなられた約20万人を悼む碑、右が「強制抑留者の尊い命を失われた方々の永遠の追悼慰霊碑」で、ソ連に強制連行された約57万5千人のうち、亡くなられた約5万5千人を悼む碑です。建立されたのは平成22年8月です。



昭和34年に建立された「無名戦没者の墓」(写真右)には、先の大戦において海外で亡くなられた36万余柱が奉安されています。遺骨は、昭和28年以降、政府派遣団が収集したものや戦後海外から帰還した部隊や個人によって持ち帰られたもので、軍人、軍属のほか一般邦人が含まれており、遺族に引き渡すことのできない遺骨です。

この日は、ライオンズクラブの慰霊祭が12時から取り行われるため、準備が行われていました。



4 靖國神社

千鳥ヶ淵墓苑をあとにして靖國神社に向かいました(写真下左)。写真下右から靖國神社です。



桜の標本木が写真下左右です。菰を巻かれた木がそうです。この木の花が5~6輪咲いたときに「開花宣言」が下されるときです。



本殿の周囲の回廊は展示場所になっており、見事な生け花の作品が多数展示されていました。

写真下左は、作品を出展している女性のようなのですが(概ね同年齢の女性?)、倉田君と小西君がナンパをしている様子です。かなり待ったのですが、なかなかこちらに来ないので、取り敢えず望遠レンズで撮りました。

写真下右は「遊就館」1階に展示してある「零戦 52 型」です。比較的新しい型で、「52 型」の最初の 5 は、機体の 5 番目の型、次の 2 は、発動機の 2 番目の型という意味です。



一次会場に向かう前に、本殿を前にして撮りました(写真下)。



以上

37 同会関東支部観桜会(その2)

今回はアルカディア市ヶ谷内中国料理「翠」(すい)における一次会の状況をお知らせします。

花見会を終えて12:50頃に「翠」に着きましたら、井上(滋)君と岡田君が待っていました。定刻になり、あらかじめ遅れるという連絡があった吉川君を除いて一次会を始めました。

まず、黒水さんが差し入れてくれた九州限定「春季(はるとき)ひよ子詰合せ」(写真右)を皆さんに紹介し、坂井君が平成23年10月28日に上京したときに集まったのが、平成24年7月14日の関東支部発足の契機になったこと、昨年の下関37同会の二次会で、たまたま誘った黒水さんが昨年11月12日、義永さんが本日、ほんとうに来てくれた幸せを述べさせていただきました。実に有難いことです。



その直前に吉川君が到着して、めでたく全員が揃ったところで、支部長の長岡君の挨拶が始まり(写真右)、長岡君が、「下関に帰る度に、同期生の暖かい歓迎を受けている。同期生というものは有難いものだ」という話をしました。



飲み放題メニュー外の「ハイネケン」の小瓶がサービスで乾杯のときだけ提供されました。

写真右は、乾杯の準備をしているところです。



支部長挨拶が終わったところで、**義永さん**の発声で乾杯を行いました(写真右)。

ハイネケン®はギンギンに冷えていて、五臓六腑に沁み渡りました。



次に各人の近況を述べていただきました。**岡田君**(写真下左)、**池田君**(写真下中)、**義永さん**(写真下右)です。



小西君(写真下左)、**倉田君**(写真下中)、**三塩さん**(写真下右)です。



武田君(写真下左)、井上君(写真下中)、坂井君(写真下右)です。



田鍋君(写真下左)、来島さん(写真下中)、吉川君(写真下右)です。



あっという間に予定の2時間が経過し、顧問の吉川君の音頭で、日新中学校校歌を高らかに斉唱してお開きとなりました(写真下)。



以上

37 同会関東支部観桜会(その3)

今回は最終回で、「カラオケ館 神田小川町店」における二次会の状況をお知らせします。

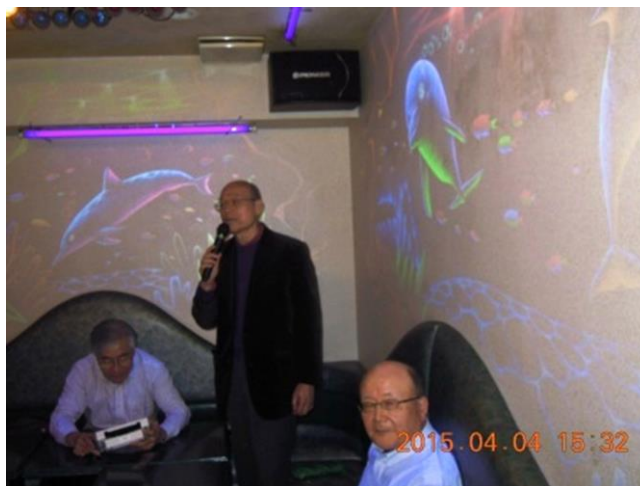
一次会を 15:00 頃に終えて、アルカディア市ヶ谷前から遂次タクシーを拾って二次会場に向かいました。自衛隊用語で各車両の指揮官を「車長」(しゃちょう)といいますが、その車長に千円とカラオケ館の位置図を渡しました。最初の 2 両の支払いは丁度 1,000 円でしたが、最後の 1 両は、あとでレシートを見ましたら、なぜか 1,090 円でした。車長の方は連絡して下さい。90 円お返しします。

2 階のパーティールームに到着するやいなや、飲み物を注文する前に、早くも田鍋君の歌が始まりました(写真右)。

そういえば彼は、予定があって早めに帰ると言っていました。この写真の時刻を見ましたら 15:32 ですから、いかにすばやい行動であったかが分かります。

次いで、義永さんが唄い始め(写真の時刻は 15:35)、下関の二次会で見込んだとおりの腕前(喉前?)を發揮してくれました(写真下上左)。

池田君の東北訛りは絶妙で、義永さんに大いに受けました(写真下上右)。



来島さんもいつもどおり美声を聞かせてくれました。倉田幹事は、自らは唄わずに、リクエスト曲を

懸命に入力し、また、「この人はこの歌を唄うだろう」という曲を入力してくれました。また、ツマミの注文もしてくれました。有難うね。このお店はメチャクチャ安いです。

坂井君(写真下左)と小西君(写真下右)も唄ってくれました。3年2組の「二人和憲」です。



義永さんは、結構弾(はじ)けていましたが(写真下上左)、九州に帰ってから来た携帯メールによると、「まだまだ弾け足らなかった」そうですので、来年が楽しみ(恐怖?)です。「芸能人が来てくれたようだった」とメールを打ちましたら、「吉本興業の芸人が来たと思ったでしょうね」ということでした。

武田君も渋い喉を聞かせてくれました(写真下上右)。長岡支部長は、一次会からほとんど飲まず食わずで、ビデオを撮ってくれました(同)。これは、古田君が去年4月5日(土)の観桜会に来てくれたあと、5月13日に亡くなり、声が残されていないことから始めたものです。



義永さんの「河内おとこ節」です(写真下左右)。池田君がよくこの吉本芸人をフォローしてくれました。



来島さんと武田君のデュエット(写真下左)と坂井君の2曲目です(写真下右)。坂井君は、「昔の名前で出ています」と「高校三年生」を唄ってくれました。



写真下左は、来島さんと井上(滋)君による「別れの朝」(ペトロ&カプリシャス)です。うまいです。写真下右は、長岡君の「奥飛騨慕情」です(だったと思います。なにしろ酔って記憶が朦朧としていました)。



写真右は、来島さんと私の「無縁坂」です。いつも低音部をうまく唄ってくれて感謝しているのですが、いつも決まって、私が曲にまったくついていけず遅れます。

一人で唄うときはそうでもないのですが、やはり美人と唄うときは緊張するのでしょう。

今度は、遅い曲（「白いブランコ」など）でデュエットをお願いします。



いよいよ定刻が迫ってきました。

最後はいつもの井上君による「思い出のステーション ～下関駅～」(歌 KIMIYO)です(写真下左右)。これで最高潮に盛り上がりお開きとなりました。

カラオケ館からは、「御茶ノ水駅」組と「神保町駅」組に別れて帰途につきました。

最高に楽しい観桜会でした。



次回は、女性が最も多く集まれる9月か10月の土曜日に総会兼懇親会を行いますので、よろしくをお願いします。

以上